

6月29日(月)

神の仕事は後退しない

聖書朗読 イザヤ 43:13~21

わたしが事を行えば、だれがそれを戻しえよう。

イザヤ 43:13

私は園芸が好きな時もあれば、嫌いな時もあります。自宅の玄関先の庭木を電気刈り込み機で刈り込むのは、とても好きです。刈り込んだ植木や茂みは植物園の木々のように美しくなるからです。しかし、数週間もすればまた元の様なボサボサの木々に戻ってしまうので、嫌になります。電気刈り込み機で造った美しさは、野獣のようになってしまいます。私の植物園はまたジャングルへ後退してしまうのです。

しかし、神様が事を行えば、後退することはありません。神様がなさったことを元に戻すことができる人も物もありません。十字架を通して、あなたの人生を恵みの洪水で満たしてくださったその恵みが干上がることはありません。十字架の死による勝利が、覆されることはありません。神様の愛の宣言が、沈黙することはありません。神様が私たちのために事を行われるときに、天地のどんな力もそれを無効にすることはできません。

神様を愛する心は いつも春

—— ジャン・ピアニー

讃美歌 379

祈り 親愛なる主よ。あなたがなさったことは決して逆行しません。そのことゆえにあなたを讃えます。あなたの仕事や愛が変わることなく続くことに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

クリス・アルトロック

テネシー州 メンフィス

今日のカ

2015年6月29日~7月5日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月30日(火)

愛かお金か？

聖書朗読 伝道者の書 2：1～11

私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持つて出ることもできません。
Iテモテ 6：7

ソロモン王は計ることのできないほどの富を持っていました。そしてその富で都市や壮大な邸宅や庭園を築きました。しかし、ソロモン王はそうして築いたそれらの物すべてを『すべてはむなしく、風を追うようなもの』であると言いつちました。ソロモン王は、死んだ後には富を支配できないと分かっていたのです。ソロモン王の遺産は、自らは労苦することない者へ、おそらくその遺産を賢く使う能力のない後継者に譲られるかもしれません(伝道 2：18～21)。ソロモン王には、自分の富が無駄にされるむなしさが分かっていたのです。

ルカは富を所有する危険について指摘しています。ある「役人」は、自分の所有する富と別れることができず、教団に加えてくださるといふイエス様のお誘いを断らなければなりません(ルカ 18：18～24)。

イエス様は、富を愛する心がもたらす食欲さについて次のように警告なさいました。『どんな食欲にも注意して、よく警戒しなさい。なぜなら、いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではないからです。』(ルカ 12：15)。

ソロモン王の宝——黄金の寺院や宮殿やソロモン王によってなされた偉大な仕事はどこにあるのでしょうか？ それらはすべて風と共に消えてしまったのです！ 風に耐えて残ったのは、神様の愛と恵みの中に見出された喜びでした。ですから、私たちも神様の愛という富の中に生きようではありませんか！

讚美歌 321

祈り 聖なるお父様。私たちがあなたの愛を十分に理解できますように、あなたの愛を学ぶにつれて、イエス様が私たちへ示してくださったのと同じ愛となくさめの心をもって他人とそれを分かち合うことができますように。私たちの心をあなたを讃える愛と喜びで満たしてください。

イエス様の御名のもとに。アーメン。

ハロルド・サイモンズ
テネシー州 スミルナ

7月1日(水)

偉大な「私」について考える

聖書朗読 ダニエル 1：3～15

人は悪をもって身を立てることはできず、正しい人の根はゆるがない。

箴言 12：3

ダニエルの話を読みながら、あなたは彼の人間的な資質について何を考えましたか。ダニエルの信仰について？ そして彼の勇気について？ 私もそれに同感です！

しかし、私が特にダニエルの人間的な資質において顕著だと思うのは、ダニエルの高潔さです。彼の「決意」を別の方法で言い換えれば「高潔」となるからです。ダニエルの決意は、一貫としてたゆまぬ彼の行動、価値観、信念、そして期待となって表されました。今までに私が出会ってきた秀でた見解を示す人々のことを振り返ってみると、その人たちには私を鼓舞する力強い高潔さがあつたことに気がきます！ その人たちは私を動かし、私自身の高潔さについて考えさせ、キリストに従おうと私自身を決意させたのです。それは重要なことでした！

汝は、闘うための我が剣と盾なり

汝は、我が威厳、我が喜びなり

汝は、我が魂の避け所、汝は我が砦なり

汝よ、我を天に向かって昇らせたまえ

おお、我が力の源

——ダロン・フォーガイル

讚美歌 501

祈り 天国のお父様。あなたの言葉を読むことによって、ダニエルのような徳ある男性や女性について知る機会を与えてくださることに感謝します。私の信仰と高潔さが日々高められますように！

イエス様の御名において。アーメン。

W・スコット・ウッズリー
テネシー州 キングストン

7月2日(木)

障壁を破る

聖書朗読 ヨエル 2:28~32

ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。

ガラテヤ 3:28

全米・全豪・全仏オープンとウインブルドン大会での優勝を独占した最初のアフリカ系アメリカ人テニスプレーヤーのアーサー・アッシュが亡くなった時、新聞は「障壁を破ろうとひたむきに生きた男死す」と報道し、その死を悼みました。

イエス様は本当の意味で、障壁を破る人でした。ヨエルはそのことをはるか昔に預言しました。ほとんどの人々はヨエルのことを、ペテロが聖霊降臨祭の説教で、弟子たちが今までに知らなかった言語で互いに話し出したと説明したときに引用したことから知っています。神様はイエス様の死と復活を通して新しい信仰の契約をもたらしてくださいました。イエス様は、古い障壁を壊しながら、すばらしいことを次々に起こされました。

ヨエルは、神様が人類すべてに神の聖霊を注いでくださると預言しています。そこには、息子も娘も、老人も若人も、男も女も、使用人でさえも含まれています。ユダヤ人でも非ユダヤ人でも、誰であっても主の名を呼ぶものには救いの手が差し伸べられます。このことは、使徒の2章ペテロの説教の中に述べられています。私たちは畏敬の念をもってそれを読み、障壁を壊してくださった神様に感謝しましょう！

讚美歌 125

祈り 主よ。すべての人に救済が差し伸べられ、そして障壁は壊されるという事実を、私たちが深刻に受け止めることができるように助けてください。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

マイケル・モス

ウエストバージニア州 パーカーズバーグ

7月3日(金)

神様が喜ばれるのは！

聖書朗読 ミカ 7:14~20

主は、あなたがたに恵もうと待っておられ、

イザヤ 30:18

私は、よちよち歩きの子孫が、どのくらいまでならやっつけられないことをやっても許されるか試そうとしているとき、その母親である私たちの娘がどのように対応するかを見ていました。孫は柵やテーブルまで歩いて行くと、触ってはいけないものに手を伸ばします。娘は「だめ」と制止します。すると孫はひるみますが、しかし、やっつけられないと分かっていることをまた敢えてやろうとするのです。娘がもっと厳しい声を出さなければならなかったり、たしなめながら孫の身体を持ちあげて、その場から孫を移動させなければならぬことさえあります。たいていは、終いには孫が母親の言うことを聞き入れ、よい子にしていればご褒美をあげるからと励まされることによって終わります。

親としては、子どもたちの悪い行動を叱ることよりも、良い行動に喜んで励ましたりするほうがずっと嬉しいものです。そしてそれは神様も同じです。預言者ミカの時代においてイスラエルは偶像を崇拝するようになり、すっかり墮落してしまいました。神様の裁きは迫っていました。そんな時にミカは、イスラエルを滅ぼすことは神様の喜びにはならないと指摘します。神様はあわれみを示そうと、『もう一度、私たちにあわれむ』(ミカ7:18) ことができる日を楽しみに待っておられます。

神様は、ご自分の子どもたちを赦し祝福したいのです。そうして頂くために、神様の恵みを受けましょう。神様と共に歩くことを喜びとしましょう。

讚美歌 525

祈り 親愛なる神様。私たちのお父様。あなたがどのくらい私たちに愛され大切にしてくださっているか、私たちが理解できるように助けてください。あなたが失望されることがないように、あなたの道を歩くことができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ケビン・B・レイチェル

テネシー州 ナッシュビル

7月4日(土)

主を第一に考える

聖書朗読 マタイ 6:25~34

だから、神の国とその義とを第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。
マタイ 6:33

私の友人の一人は空軍のパイロットでしたが、1960年代に雪と氷に覆われたヒマラヤ山脈に墜落しました。生き残った乗務員たちは、文明社会から切り離された場所なので、無線で外部と連絡をとることができません。レスキュー部隊の飛行機が生存者を探していましたが、厚い雲がそれを阻んでいました。生存者たちは何日も食べず、氷をなめて水分を摂りました。7人いた生存乗務員のうちの3人が傷の悪化で亡くなると、残りの者たちの生存への希望も消えていきました。生存者たちは意識を失っていきました。それを見た私の友人のパイロットは、友人を助けてあげられないほどに自分も弱っていると感じましたが、それでも、死にかけている友人の側に這って行って、懸命にその人の手と足をさすりました。その人が生気を取り戻すにつれ、身体をさすってあげた友人の身体も、運動によって血のめぐりが良くなったので温かくなり元気を取り戻しました。そしてその日、彼らは救出されました。私の友人パイロットは後日こう言いました。「自分にとっては辛くても、友人の命を救わなきゃと思ったんだよ」。

痛みや犠牲を払ってまで他人を助けようとは思わないという考えは、私たちのいのちを破壊します。神様を通して他人に私たちのいのちを与えることによって、自分のいのちを救うことができるのです。他人を優先しなさい。そうすればあなたは、ほかのことでは全て良いものを人生で得ることができるでしょう。

讃美歌 90

祈り お父様。あなたの御子イエス様をと通して、私たちがあなたのご意思に従って自分たちの人生の優先順位をつけることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ウィリアム・E・マックドノー
カンボジアの命の船

7月5日(日)

懸命な祈りの力

聖書朗読 マタイ 6:5~15

しかし、いま聞いているあなたがたに、わたしはこう言います。あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行ないなさい。あなたをのろう者を祝福しなさい。あなたを侮辱する者のために祈りなさい。
ルカ 6:27~28

あなたは、心の敵(心配、怒り、憤り、ストレス)と闘ってはいませんか。もしそうなら、強力な武器がいます。それは「祈り」です。

よく知られているパウロの助言にこういうのがあります。『何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。』(ピリピ4:6)。ですから今すぐこれに従いましょう。

あなたが心配していることを神様に話しましょう。あなたが誰に憤慨しているのかを神様に話しましょう。あなたの心を絶えず悩ませていることを神様に話しましょう。イライラする時があるなら、それを神様に話しましょう。

十字架にかかりながら、イエス様はこう祈られました。『父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。』(ルカ23:34)。ステパノは石を投げられながらこう祈りました。『主よ。この罪を彼らに負わせないでください。』(使徒7:60)。愛と赦しと祈りは三つ子のように絡み合っています。

祈りは、心配・怒り・憤り・ストレスを取り除くことができます。しかしそれには、私たちが祈らなければなりません。祈りの効き目がでるまで祈ることは、ハーバード大学で勉強するほどには大変ではありませんが、本当に心配事からリラックスするためには、一日に20分の祈りの時間が必要でしょう。一番重要なことは、心から信じて祈ることです。さあ、祈りましょう！

讃美歌 389

祈り 愛する父なる神様。私たちの祈りを聞いてくださることに、あなたのやさしさに、私たちの日常に目的を持ってくださることに感謝します。私たちの日常において、あなたについて語ることができますように、なぐさめと勇気をください。

イエス様の御名において。アーメン。

S・ビル・ジーマンズ

カリフォルニア州 サンフランシスコ